

調査番号

105

事業名	道路ふれあい運動推進費	財務コード (事業)	131202
-----	-------------	---------------	--------

細事業名	やまなしロードフェア費
------	-------------

担当部課室	県土整備 部 道路管理 課 道路管理 担当 (内線)	7255
-------	----------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 S62 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に 道路を利用する人	その対象をどのような状態にして 道路愛護思想への理解が深まっている	結果、何に結びつけるのか 道路愛護思想の普及等による、良好な道路環境づくりの促進
	事業実施団体 「道路ふれあい月間」中の効率的な啓発事業を行うため、県内の道路管理者4団体(国土交通省甲府河川国道事務所、中日本高速道路(株)、山梨県道路公社、山梨県)は「やまなしロードフェア実行委員会」を設置し、事業を実施する。 事業概要 甲府駅前での街頭PR (H24年8月1日) やまなしロードフェア実行委員が、啓発品と案内チラシを配布。 道の駅でのPR (終了後、道の駅へ啓発品を郵送) 県内全ての道の駅で、啓発品と案内チラシを配布。 道路清掃 (H24年8月1日) やまなしロードフェア実行委員65名が、甲府中心部の道路清掃を実施。 放置自転車への注意喚起 (H24年8月1日) 甲府駅前の駐輪禁止区域内の放置駐輪車両への調査札の取付け。 懸垂幕の掲揚 (H24年8月1日~8月31日)		
事業の内容主に 24年度			
根拠法令等	国交第80-2号「平成24年度「道路ふれあい月間」の実施について」 平成24年度「道路ふれあい月間」実施要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 街頭PRでの啓発品・案内チラシの配布数	1093部	1500部	1360部	1500部	1500部	活動指標 目標設定の考え方 過去の実績を参考にした。 データの出典等 実績報告
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		90.6 %			
成果指標 成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	決算額、予算額	141	162	167	172	
(千円) うち一財額	141	162	167	172	街頭PRや道路清掃等を通じて、道路の役割及び重要性を再認識してもらうことで、道路の正しい利用、良好な道路環境づくりの促進につながっている。「道路ふれあい月間」推進標語(国土交通省主催)への積極的な応募も、身近な道路を見つめ直し、道路愛護思想の普及が得られていると考える。	
所要時間(直接分)	10 時間	10 時間	10 時間	10 時間	10 時間	
所要時間(間接分)	0 時間	0 時間	0 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計	10 時間	10 時間	10 時間	10 時間	10 時間	
人件費1人単位:千円 (@2,050円×所要時間)	21	21	21	21	21	

これまでの事業の見直し・改善状況

H15から集客的なイベントを廃止し、道路管理業務体験バスツアーに取組む。写真コンクールは特定の人物の応募で偏るため、H18で取りやめ、H19から大人を対象とした道にちなんだイベント(H19信玄の椿道ウォーク、H20吉田口登山道ウォーク)を実施したが、H20行政評価後に一課一事業廃止を求める見直しで、ウォーク事業廃止。H21事業見直しにより、道路管理施設親子体験バスツアー廃止。H22より現事業。

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること
	b	街頭PRや道路清掃、放置自転車への注意喚起といった活動を通じて、またその活動に関する報道を通じて、道路への関心が高まり、平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語(国土交通省主催)の応募が全国1位となるなど、道路を見つめ直す機会となっている。道路愛護思想の普及につながっており、意図した成果はほぼ上げている。 (平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語の応募期間は平成25年1月～3月まで)

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。